

令和3年10月28日(木) 火災避難訓練

10月28日(木)第6限時に避難訓練を実施しました。グラウンドのコンディションが悪かったため雨天時の避難経路で実施しました。今年度も三条消防署様からご指導をいただきながら火災時を想定した訓練を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「密」を回避するために避難場所を第1体育館と第2体育館の2カ所とし、第1体育館に2年生と3年生、第2体育館に1年生を避難させました。第1体育館を総合本部とし、校長と消防署員から指導講評をいただきました。

災害時にはICT活用が困難になるかもしれないという判断で第2体育館での指導講評は教頭ともう一人の消防署員に指導講評をお願いしました。また、指導講評の後、第1体育館、第2体育館それぞれの場所で消火器の使い方について消防署員から説明していただきました。説明を聞いた後、代表の生徒が実際に屋内用の空気を噴射する消火器を使って実践練習をしました。「火事だー!!」と大きな声で周囲に火災の発生を伝えた後、火元に向けて消火器を使用しましたが、スムーズに使えていたと思います。

徳永校長先生は、講評の中で物理学者であった寺田寅彦の「災害は忘れたころにやってくる。」という言葉を紹介され、いつ起こるか分からない災害への備えの大切さを強調されました。また、消防署員は、災害時はパニック状態に陥ることがあるが、「おはしも」を思い出して冷静に行動するようにとのご指導をいただきました。

お・・・「お」さない（押さない）
は・・・「は」しらない（走らない）
し・・・「し」ゃべらない（喋らない）
も・・・「も」どらない（戻らない）

消火器訓練の様子



三条消防署の消防署員より消火器の使用方を説明していただきました。



第2体育館でも代表の生徒2名が消火器使用の実践訓練をしました。